

# 「心に残る文化財子ども塾」学習指導案

日時:令和6年7月4日(木)9:35~11:30

場所:松江市立恵曇小学校

対象者:同校6年生 10人

指導者:飯島 湾(6年生担任)

講師:矢野健太郎(島根県古代文化センター)  
土橋 由奈

## 1. 主題 「学校周辺の遺跡と奈良の大仏」

## 2. ねらい

- ・「奈良の大仏」の大きさをパズル組み立てにより体感する。その巨大さに込められた先人の願いについて考える。
- ・小学校校区内にある「奈良の大仏」の時代の人々の生活や道具を知り、地域の歴史や文化財に対する興味・関心を高める。

## 3. 本時の展開

学習活動	指導者の支援および留意点
9:35~9:38(3分) ①講師紹介と本時の流れを確認する。	・見通しをもって本時の学習ができるようにする。(担任)
9:38~10:00(22分) ②小学校近くの奈良時代の遺跡について知り、遺物に触れる。	・小学校近くにある古浦砂丘遺跡や志谷奥遺跡について、発掘調査の様子や見つかった物の写真を使って、説明する。(講師) ・『出雲国風土記』に書かれた恵曇浜の様子も交える。(講師) ・遺跡や遺物からどのようなことが分かるか発問し、児童が考えることができるようにする。(講師) ・遺物の触れ方を指示する。(講師)
10:00~10:45(45分) ③クイズを通して、大仏づくりについて考える ④大仏パネルの組み立てを体験する。 ・1m四方の部品のパネルをパズル形式で組み立てる。 ・高さ18mの大仏を完成させる。	・見通しがもてるように、奈良の大仏や組み立てについて説明する。(講師) ・大仏パネル組み立ての際には靴を脱ぐように指示をする。 ・児童が協力して活動に取り組めるようにする。 ・完成後に体育館の2階から完成状況を確認するようにする。
10:45~10:55分(10分) ⑤写真撮影や観察で大仏の大きさを体感する。	
10:55~11:00(5分) ⑥まとめ	・児童の気づきを大切に声かけをする。 (担任、講師)
11:00~11:25(25分) ⑦片付け	

## 4 準備物

小学校:ワークシート、筆記用具、カメラ、長机4つ、水筒、扇風機

※この日は1~5校時まで終日体育館使用不可の依頼をしておく。(午後も別予定があるため)

講師:大仏パネル、遺物、アンケート

## 5 その他 講師の方が9:00頃来校、準備をされる。車は体育館入口に横付け。